## 」毛澤(ぶな)の子野沢温泉学園だより第

~子どもたちが、ブナ(村木)の若葉のごとく、力強くたくましく伸びてほしいとの願いを込め~

### 第21回 野沢温泉 学園授業研究会 11月15日(水)

| | 月 | 5日(水)、授業研究会がありました。今回は より多くの方に学園の取り組みを見ていただこうと近 隣小中学校を含め広く参加を呼びかけました。小中学校 の教員を始め、大学教員や教育事務所からもご参加をい ただき、21名の方がお越しになりました。また、午前 中は、たくさんの保護者の方や学園運営協議委員の皆様 にお越しいただき、大勢の皆様に中学校、こども園、小

学校と子どもたちの様子を見ていただくことができました。

中学1年:英語

Research on Australia

こども園年長組:おまつりごっこに向けて ~屋台作りを楽しもう~



小学3年: 図工

「4コマ物語をつくろう」

午後は、小学校 6 年生が「PR 野沢温泉~ 野沢温泉の魅力を世界へ~」と題して外国語 の授業を行い、外部参加者の皆さんと学園職 員で参観しました。6年生の子どもたちは、 いつも英語を教わっているヘレン先生 (ALT) の、アメリカに住んでいるお姉さん に、英語で野沢温泉の魅力を紹介しようと考 えました。

「野沢温泉のスキー場は楽しいと伝えた



いな。」「スキー初心者ならやまびこゲレンデは無理かい。」「パラダイスゲレンデなんかいいな。 広いし景色きれいだし、リフトが速いし。Lift is fast!」このような会話を友だちとしながら、 だんだんと自分たちの気持ちを英語で表現していきました。

# 講演会

授業後の「学びをつなぐ会」では、参観者が授業の様子か 学びをつなぐ会 らどんなことを学んだか意見交換をしました。参観者の皆さ んからは、「熱中して 45 分の授業に取り組んでいる 6 年生の 姿」が話題となりました。野沢温泉の魅力と言えば、「スキー・

祭り・自然・食」を思い浮かべる子どもたちですが、同じ「スキー」でも子ども達が語る魅力 はそれぞれで違っていて、その違いが「伝えたい・話したい」の原動力になっているという話 がありました。村の魅力を嬉しそうに語る子どもたちの姿を通して、参加者で語り合いました。

その後は学園中心講師の渡辺貴裕先生(東京学芸大学)のご講演があり、3つの校園を参観されて感じた共通する子どもの姿として、「友と一緒に何かに熱中する姿」を挙げられました。

「ねえ、これ見て。」と友だちに声をかけながら、相手の反応をよく見ている子どもたち。同 じように興味をもってくれる仲間と学び合いながら、自分の世界を広げている様子を、渡辺先 生と共に確認することができました。

#### 野沢温泉学園 スキー講演会

#### THE WONDERFUL JOURNEY WITH SKI

#### 講師 森 晃 さん(野沢温泉 SC 理事長)



「日本の素晴らしいスキー文化を世界の人々に知ってもらいたいと願って、スキーの仕事を しています。」と自己紹介をされてから、講演が始まりました。森さんの情熱のこもった語り 口に、子どもたちは最後まで引き込まれるように聞いていました。

世界の人々に野沢温泉をアピールしてきた森さんは、「スキーリゾートとしての野沢温泉の競合相手は、世界的なリゾート地です。」とお話され、世界を相手にしてきた本物のプレゼンを通して、野沢温泉の魅力を語ってくださいました。また、講演の後半では、野沢温泉スキークラブの次の 100 年に向けた思いを教えていただきました。その中で森さんは「何かをするときに、やる気が出るのを待っていたらダメです。しっかり動くからやる気が出るのです。すると情熱が燃えてきます。」と、子どもたちに大事な言葉を伝えてくださいました。

最後に子どもたちの代表から感想発表がありました。スキーを通して人生を豊かにしてほしいという森さんの熱いメッセージを受け取り、「スキーを通して多くの人たちとつながれることを知った。」と発表した中学生の言葉が印象的でした。

文責:小学校 平田 久貴